

2017年8月6日（日）神戸大学附属中等教育学校

1. 震災・復興とリスクマネジメント（○）
2. 国際都市神戸と世界の文化（ ）
3. 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ（ ）
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸（ ）
5. その他（ ）

[概要]

## 神戸クロスロード研究会主催のクロスロードゲーム体験会に参加しました

### 1. テーマ

神戸大学附属中等教育学校 SGH「震災・復興とリスクマネジメント」震災（disaster）・復興（reconstruction）・減災（reduction）・レジリエンス（resilience）をテーマとした DR3 プロジェクト

### 2. 目的

- ①災害発生の瞬間から難しい決断に迫られる中、災害をイメージして防災につなげる。
- ②阪神・淡路大震災の体験を伺い、ゲームの問題を考える。
- ③災害現場の実際にあったジレンマ場面で災害を生き抜く力を身に着ける。

### 活動の様子



クロスロードゲームを体験



クロスカードゲームの中で話し合い



クロスカードゲームの問題を考える

### 参加生徒の所感

2年目の参加でしたがまったく違うメンバーで年代も小学生から年配の方までと幅広かったので、とても新鮮でした。災害時は究極の選択を迫られることが多々あり、日頃からこういった活動に参加し備えておく必要性を再認識しました。今後の地元における防災活動に活かしていけたらと思います。（5年 M.T）

昨年も本プログラムに参加していた為、自身の進歩を感じました。クロスロードを実践する際に、DR3活動で学んだことや経験したことを活かすことで、昨年と同じ問題であっても180度異なる考え方を持つことが出来ました。また、グループごと老若男女な為、様々な意見を伺うことができ、大きな刺激を受けました。今回、クロスロードで得た新たな知識については、DR3から多くの人に発信出来る様、今後取り組んで行きたいと思います。（5年 H.S）

今回初めてクロスロードゲームを体験しました。ゲーム内の問題が具体的でとても考えさせられました。答えが決めづらい問題もありましたが、自分のDR3の仙台研修や東京研修などで学んだ経験を生かして考えることが出来ました。また、このゲームでは自分の同じ世代の方だけでなく、小さい子から年配の方までいらっしやり、立場によって考えが様々なことを知りました。自分と真逆の考えの人からの意見を伺い、さらに自分の中の意見を深めることができました。日ごろから震災についてもっと考えておく必要があると改めて思いました。さらに自分だけでなく家族や年配の方にも体験を通して学んだことを伝えていきたいと思います。（5年 M.K）

今回のクロスロード体験では、具体的な状況で自分がどのように行動するのかを考えるということをしました。問題が神戸市職員の方の実際の経験をもとに作られていることもあり、かなり考えさせられました。今回の活動を通して、自分が危険な状況にあった時にどのような行動をするのか、考える必要があると思いました。また今回学んだことを今後のDR3の活動に活かせると感じました。（5年 H.U）